

シンポジウム 子どもの貧困と食格差

～私たちができること～



日本の子どもの6人に1人、一人親家庭の子どもの2人に1人が貧困状態にあるといわれています。共に生きる私たちは、子どもたちのために何ができるでしょうか。食格差の視点から現状を知り、考える機会としたいと思います。日本弁護士連合会の取り組みの報告もあります。

鳥 咲子 (がん さきこ) 氏

跡見学園女子大学マネジメント学部教授

2016「給食費未納—子どもの貧困と食生活格差」光文社新書

2016「子どもの貧困と教育機会の不平等—就学援助・学校給食・母子家庭をめぐって」明石書店

2018「子どもの貧困と食格差—おなかいっぱい食べさせたい」大月書店 (共著)

横井 葉子 (よこい ようこ) 氏

スクールソーシャルワーカー、スクールソーシャルワーカースーパーバイザー
横浜国立大学国際教養学部国際教養学科非常勤講師

2014『エビデンスに基づく効果的なスクールソーシャルワーク』明石書店 (共著)

2017『子どもの貧困対策と教育支援』明石書店 (共著)

2019『教師のためのスクールソーシャルワーカー入門』大修館 (共著)

2019年11月2日(土) 14時から16時

会場 横浜市開港記念会館 6号室 (定員110名)

(横浜市中区本町1丁目6番地)

主催：神奈川県弁護士会 (企画：貧困問題対策本部)
日本弁護士連合会 (予定)

問合せ：神奈川県弁護士会

☎045-211-7705 (平日9～12時、13～17時)

